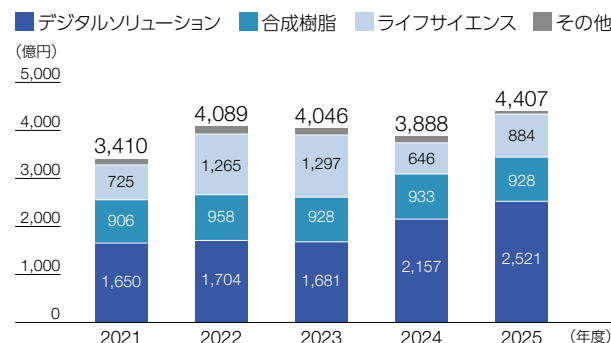


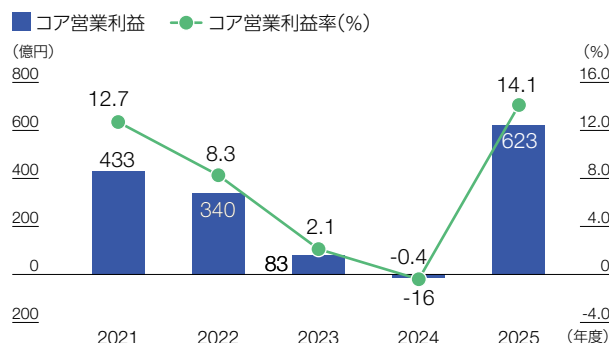
財務ハイライト

売上収益



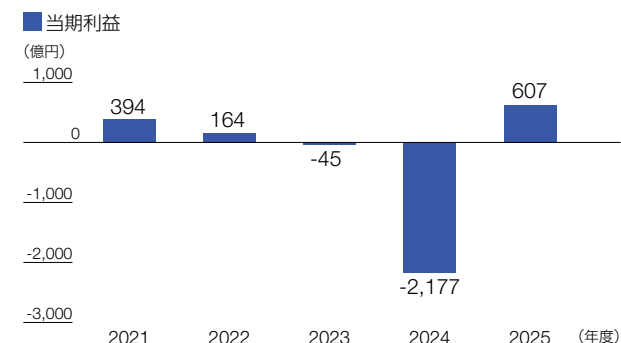
祖業のエラストマー事業を2022年4月に譲渡したことにより、2021年度以降、当事業は当社の売上収益に含まれていません。売上収益に占めるDS事業の構成比は、2025年度は57%へと上昇しました。LSを非中核事業と定め、EM、DIS、OPTから成るDS事業を主軸として、成長性と収益性を高める事業基盤を構築しています。

コア営業利益・コア営業利益率



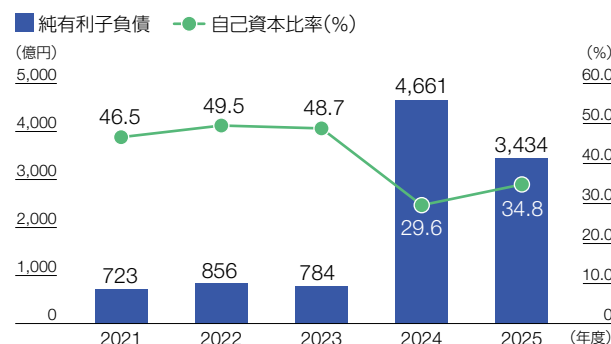
2023年度および2024年度はLS事業における一過性損失の影響を受けましたが、2025年度はEM事業の伸長により、コア営業利益は623億円とV字回復し、過去最高を更新しました。今後も、先端半導体・エレクトロニクス分野において積極的な技術ソリューションを展開し、さらなる収益性の向上を目指します。

当期利益



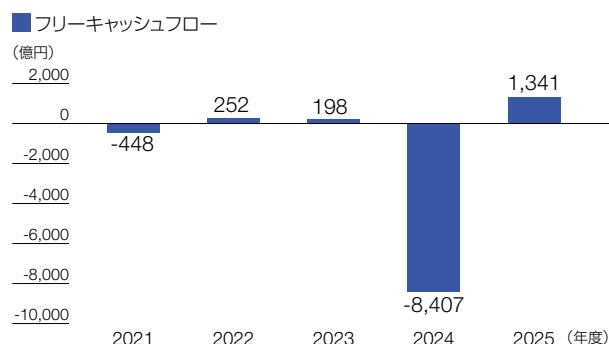
LS事業の構造改革に伴う一過性損失や減損により、2023年度および2024年度は損失を計上しました。2025年度はEM事業の収益性拡大に加え、LS事業の立て直しによる事業構造改革の進展や事業譲渡益が寄与し、当期利益は607億円となりました。

純有利子負債・自己資本比率



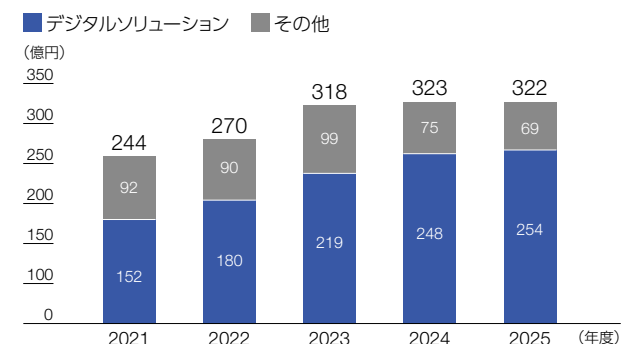
2024年度は、非上場化に伴う借入により純有利子負債が増加しましたが、2025年度は事業譲渡収入および各事業の収益力向上を原資として、純有利子負債は3,434億円(前期末比1,227億円減)となりました。自己資本比率も34.8%へ改善しており、財務基盤の強化を進めています。

フリーキャッシュフロー



2024年度は、非上場化に伴う要因(JICC-02との合併)により、フリーキャッシュフローがマイナスとなりました。2025年度は営業キャッシュフロー619億円に加え、事業譲渡収入等も寄与し、フリーキャッシュフローは1,341億円となりました。今後も、借入金の返済を進めつつ、キャッシュフロー効率も高めていきます。

研究開発費



研究開発費は、2021年度の244億円から2025年度には322億円へ増加しました。うちDS事業向けは152億円から254億円へ拡大し、全体に占める比率も62%から79%へ上昇しました。今後もEM事業をはじめとするDS事業の競争力強化および先端領域での事業拡大に向けて、成長投資を強化していきます。